

議事概要

令和6年度第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和6年度9月26日（木）13:00～15:00

場所：仙台合同庁舎B棟9階 港湾空港部 AB 会議室

【議事概要】

- ・ 前回、令和5年度第2回東北港湾の技術ビジョン検討委員会での指摘事項に対する資料修正等について説明し、意見交換を行った。
- ・ 技術ビジョンの骨子案の修正について説明し、意見交換を行った。
- ・ 技術項目の個表（目的、取組テーマ、イメージ図等）について説明し、意見交換を行った。
- ・ 今後の審議事項について、資料作成のイメージ等の説明し、意見交換を行った。

<議 事>

- （1）検討の流れと指摘対応について
- （2）東北港湾の技術ビジョンの骨子について
 - ・ 技術ビジョンの骨子修正
 - ・ 技術項目の個表（目的、取組テーマ、イメージ図等）
- （3）今後の審議事項について
 - ・ 取組時期、取組体制、技術ビジョン冊子

【委員からの主な意見】

- ・ 能登半島地震の経験を踏まえた内容がいくつかあるが、他にも漏れがないか確認すること。
- ・ 全体的に観光の要素が少ないため、入れることができないか。浚渫土を有効活用した人工干潟は、観光に寄与する観点からもよいと思う。また、クルーズ船の陸電も追加してはどうか。
- ・ 洋上風力や再生可能エネルギーに関する博物館や人材育成施設など観光施設的なものを追加してはどうか。
- ・ 新技術と既存技術を分類するのは難しいと思うが、「過去に無い新技術」は明確に示すような観点で整理していただきたい。
- ・ 技術ビジョンは公表されるものなので、理念は港湾関係者に限定せず、技術開発の主体を冊子の中で示す必要があるのでは。
- ・ 技術ビジョンの達成状況や見直し、チェック体制をどのようにするか検討した方が良いか検討して頂きたい。
- ・ 技術ビジョンの取組体制について、観光に関する資源や体制との関係を入れることはできないか。

以上